

WOOD FRIENDS

DESIGN AND INNOVATION

第25期中間報告書

平成18年6月1日から平成18年11月30日まで

株式会社 **ウッドフレンズ**

Contents

株主の皆様へ.....	2
事業のご紹介.....	3
Topics.....	5
営業の概況.....	6
連結決算の概要.....	7
決算の概要.....	9
セグメント別営業の概況.....	1 1
連結財務ハイライト.....	1 2
株式の状況.....	1 3
会社の概要.....	1 4

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第25期中間期（平成18年6月1日から平成18年11月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

当中間期の連結・個別の業績は、売上高および利益額とも当初計画を上回る結果となりました。主な要因といたしましては、比較的順調に販売が進捗したことと、一部の案件について、その計画を見直して早期売却を行ったことによる売上高および売上総利益の増加によるものであります。

戦略的に拡大を進めております都市事業は順調に推移しております。また住宅事業は、競争が激化しております市場動向を注視しつつ、適正量の商品を供給し、中核事業としての位置付けをより強固にしていく所存であります。

次に、グループ事業の状況ですが、森林公園ゴルフ場運営株式会社が担うPFI事業(愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業)による愛知県森林公園ゴルフ場（愛知県尾張旭市）が、来る平成19年4月にリニューアルオープンを迎えます。既にPR活動を開始しており、様々な方面の方々の反応から、本事業に対する当社への期待の大きさを感じております。その期待に沿うべく、誠心誠意努めてまいります。

中古不動産再生事業の株式会社Design&Constructionと不動産販売を行う株式会社リアルウッドマーケティングの事業展開は比較的順調に進んでおります。建築資材の卸売を行う株式会社FOREST NOTEは、単年度黒字化に向け、販売先の開拓を進めております。

また、当中間期は新たな戦略的取り組みを行いました。

平成18年11月に、大学系医療ベンチャー企業への出資を行い、これまでの当社には無い事業分野へのネットワークを構築することで、より付加価値の高い不動産開発事業を展開するための足掛かりをつくりました。また、第4四半期より、建物の維持管理業務を主たる事業内容とする子会社1社が加わる予定であり、既存の住宅事業および都市事業との強固な連携により、当グループとして高いシナジー実現を志向してまいります。

当グループは「生活環境の創造」を事業領域として、今後も新しい価値を創り続け、地域に必要とされる知的ディベロッパーを目指してまいります。変化し続ける環境に対し、「美しくあること」を基軸とした柔軟さをもって対応し、社員一人一人が自らの社会貢献を実感できる企業であり続けたいと考えております。そして、その成果が株主の皆様へ還元される経営を今後も推し進めてゆく所存です。どうか引き続き変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成19年2月
代表取締役 前田 和彦

事業のご紹介

基本理念

当社は、社会的な使命を「常に新しい価値を創造し、社会に提供していくこと」と捉え、「美しくあること」という経営理念を基に、これからの時代にふさわしい生活環境を提案していきたいと考えています。

住宅事業

〈分譲住宅事業〉

あくまでも自分らしさ、我が家らしさにこだわる方に選んでいただきたい、感性を大事にした戸建分譲住宅を提案しています。当社の戸建分譲住宅は、「土地」+「住宅」という発想ではありません。環境に配慮し、完成度の高いプロのしつらえを施した「都市の住空間」を提供しています。それぞれが「ひとつの作品」。いわば、ウッドフレンズ流プレタポルテです。



菅田の家(名古屋市天白区)



月見町の家(愛知県大府市)



梅里の家(名古屋市緑区)



金山駅東の家(名古屋市熱田区)



翠松園の家(名古屋市守山区)

〈注文住宅事業〉

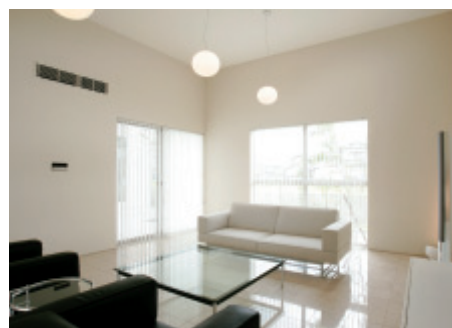
ケースバイケースのニーズに建築デザイナーの想いを重ね、「真の注文住宅」とは何かの問いに明確にお答えを提案していきます。美しく心地よく、そこに住まう人のアイデンティティをカタチにした住まい。経験豊かなスタッフがお客様の希望を形にしていきます。注文住宅はウッドフレンズ流オートクチュールであり、感覚の上での試みの場です。



八事モデルハウス「クレモナー」(名古屋市昭和区)



大府モデルハウス「生成りの家」(愛知県大府市) 同左



S様邸(愛知県津島市)

〈ライフスタイル事業〉

住空間を通じてライフスタイルの提案を行うという考え方にたち、住宅と同一のデザイン思想を用いて、家具やキッチン・洗面化粧台等のオリジナル商品を開発・販売しています。これらオリジナル商品群“F.PRODUCTS(エフ・プロダクツ)”は、生活そのものをウッドフレンズテイストで提供していきたいという想いを表しています。



エフ・プロダクツショップ(名古屋市東区)

都市事業

時代を超え都市で利用されるもの、残されていくものを価値基準として、住宅事業で培ってきたノウハウをベースに投資の観点から収益不動産の開発事業を推進しています。具体的にはマンションや商業テナントビル、オフィスビルの新規開発および既存ビルのバリューアップを主な事業メニューとして、地域経済の活性化を目指した事業を展開していきたいと考えております。



コレクション照が丘(名古屋市名東区)

愛知県森林公園ゴルフ場 平成19年4月1日リニューアルオープン

当社を筆頭株主とする森林公園ゴルフ場運営株式会社が「愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業」の施設整備が概ね完了しました。

新設したセンターハウスの外観は、周辺の樹木や地形および景観に馴染むよう、地上1階・地下1階の低層で伸びやかな建築デザインとしております。建物内部については、ホールやレストランの内装に愛知県産木材を活用し、穏やかで質感のある室内空間造りを目指しました。

コースの改修工事についても、高麗グリーンのベントグリーン化、レディース・ティーの増設、

電磁誘導式カートの全面導入に応じるカート道路の整備など、愛知県からの預かり資産であるゴルフ場の資産価値向上ならびに質の高いサービス提供を目指したコース整備となっております。

またレストランでは、自然素材を使用した料理メニューを提供する方針であり、当社グループが手掛けるゴルフ場として、随所に環境と健康に配慮したアイデアを織り込んでおります。

当社は今後の20年間において、“ナチュラルスポーツ”をコンセプトに本事業を推進し、更に適正なアセットマネジメントを通じて長期的ビジョンで安定した経営を図ってまいります。



愛知県森林公園ゴルフ場 センターハウス

JM227プロジェクト竣工、引渡完了

当社が先期より企画してきた渋谷区神宮前「JM227プロジェクト」は、平成18年9月に竣工、同年11月、機関投資家へ引渡しを完了しました。このJM227プロジェクトは、当社がこれまで東京の都市開発事業において培ってきたノウハウを基に、著名な建築家とのコラボレーションにより、商業空間としての機能性とデザイン性を兼ね備えた建物となっております。3面道路とL字型敷地を活かした特徴ある導線プラン、蓄光タイルを採用した斬新な外観、さらに明るく広がりのある内部空間を創出し、施工途中から物件への問い合わせを多数いただくなど、神宮前にふさわしいランドマーク性のある建物となりました。現在は、イタリアのデニムブランドの日本法人本社（商談スペース兼オフィス）として活用されています。



JM227（東京都渋谷区）

当社は、現在も首都圏で複数の新規プロジェクトを推進しておりますが、いずれの事業目的も、不動産が持つポテンシャルを最大限に引き出し、地域社会に必要とされる利用価値を提案することにあります。これからの的確なマーケット分析と商品企画力を融合させることによって、収益性の高い不動産開発を進めてまいります。

営業の概況

営業の経過および成果

当中間期におけるわが国経済は、金利の先高懸念や個人消費の低迷といった先行きに対する不安要素があったものの、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善が継続したことなどにより、全体として堅調に推移し、景気は緩やかながらも拡大基調が続きしました。

住宅業界におきましては、全国の新設住宅着工戸数、当グループの事業に関係の深い愛知県の一戸建て分譲住宅の新設着工戸数ともに、堅調に推移しました。

このような状況下、当社の主力事業であります住宅事業は、1次取得者層の旺盛な需要に支えられ、名古屋地域を中心として販売活動を積極的に行ってまいりました。

また都市事業では、当期販売予定の案件を確実に進めるとともに、次期以降の案件への投資活動も積極的に行ってまいりました。

グループ会社の状況ですが、中古不動産再生事業の株式会社Design&Constructionは、事業展開を積極的に行い、前年同期を上回る販売を実現しました。設計・建築ノウハウとともに建材・家具の卸売を行う株式会社FOREST NOTEは、単年度の黒字化に向けて事業を推進しております。前期に設立しました販売子会社の株式会社リアルウッドマーケティングは、当中間期より本格的に営業を開始しました。また、PFI事業を行う森林公園ゴルフ場運営株式会社は、平成19年4月の営業開始に向けて、遅滞なく準備を進めております。

その結果、売上高は8,000,323千円（対前年同期比6.5%増）、営業利益305,607千円（同39.0%増）、経常利益213,487千円（同82.4%増）、当期純利益172,488千円（同376.9%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

住 宅 事 業	団塊ジュニア世代など住宅1次取得者層の需要に支えられるとともに、積極的な販売活動を行ったことなどにより、売上高は7,049,143千円（対前年同期比14.4%増）となり、営業利益は366,980千円（同43.7%増）となりました。
都 市 事 業	収益型不動産1件の販売及び収益型不動産からの賃料収入並びに個別事業計画の見直しによる物件の早期売却により、売上高は963,245千円（対前年同期比28.8%減）となり、営業利益は111,310千円（同13.0%増）となりました。

連結決算の概要

主な連結経営指標

科目	期別	平成18年11月期	平成17年11月期
連結売上高(百万円)		8,000	7,514
連結営業利益(百万円)		305	219
連結経常利益(百万円)		213	117
連結当期純利益(百万円)		172	36
連結純資産(百万円)		2,458	1,937
連結総資産(百万円)		15,193	12,868
連結1株当たり純資産(円)		166,107.32	130,883.08
連結1株当たり当期純利益(円)		11,654.66	2,444.09

※当社は、平成18年6月1日をもって1対4の株式分割を実施しており、平成17年11月期の1株当たりの数値は当該期首に分割が行われていたと仮定した金額となっております。

中間連結貸借対照表

科目	(単位：千円)		
	前中間連結会計期間末 (平成17年11月30日現在)	当中間連結会計期間末 (平成18年11月30日現在)	前連結会計年度 要約連結貸借対照表 (平成18年5月31日現在)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	996,440	967,307	1,460,196
完成工事未収入金及び売掛金	22,282	20,133	30,022
たな卸資産	9,703,663	11,146,065	9,412,841
その他	186,569	226,905	213,624
流動資産合計	10,908,956	12,360,412	11,116,685
固定資産			
有形固定資産合計	1,687,223	2,470,258	1,383,907
無形固定資産合計	9,895	41,505	44,860
投資その他の資産合計	262,396	320,934	253,418
固定資産合計	1,959,515	2,832,698	1,682,187
資産合計	12,868,472	15,193,111	12,798,872
負債の部			
流動負債			
工事未払金及び買掛金	793,951	1,337,310	942,137
1年内償還予定社債	220,000	220,000	220,000
短期借入金	6,015,950	6,680,400	6,325,300
1年内返済予定長期借入金	130,200	582,606	231,200
未払法人税等	63,753	43,346	391,768
完成工事補償引当金	82,746	79,732	81,000
その他	316,085	536,500	573,692
流動負債合計	7,622,686	9,479,896	8,765,097
固定負債			
社債	230,000	10,000	220,000
長期借入金	2,751,700	2,853,594	1,078,600
その他	325,565	391,232	360,482
固定負債合計	3,307,265	3,254,826	1,659,082
負債合計	10,929,952	12,734,722	10,424,180

連結対象子会社（4社）

会社名	資本金	当社の 議決権比率	主な事業内容
株式会社 Design & Construction	90百万円	100%	中古不動産の 加工・販売
株式会社 FOREST NOTE	90百万円	100%	家具・建材の 卸売
森林公園 ゴルフ場 運営株式会社	10百万円	70%	森林公園ゴルフ 場の施設の設計 ・建設・運営業務
株式会社 リアルウッド マーケティング	10百万円	100%	不動産の仲介、 売買業務

科目	(単位：千円)		
	前中間連結会計期間末 (平成17年11月30日現在)	当中間連結会計期間末 (平成18年11月30日現在)	前連結会計年度 要約連結貸借対照表 (平成18年5月31日現在)
少数株主持分			
少数株主持分	1,450	-	-
資本の部			
資本金	279,125	-	-
資本剰余金	269,495	-	-
利益剰余金	1,305,354	-	-
その他有価証券評価差額金	83,095	-	-
資本合計	1,937,069	-	-
負債、少数株主持分及び資本合計	12,868,472	-	-
純資産の部			
株主資本			
資本金	-	279,125	279,125
資本剰余金	-	269,495	269,495
利益剰余金	-	1,835,681	1,751,992
株主資本合計	-	2,384,301	2,300,612
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	-	74,086	73,584
少数株主持分	-	-	495
純資産合計	-	2,458,388	2,374,692
負債・純資産合計	-	15,193,111	12,798,872

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自平成17年6月1日 至平成17年11月30日)	当中間連結会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	前連結会計年度 要約連結損益計算書 (自平成17年6月1日 至平成18年5月31日)
	金額	金額	金額
売上高	7,514,057	8,000,323	18,166,937
売上原価	6,550,456	6,872,029	15,429,334
売上総利益	963,600	1,128,293	2,737,602
販売費及び一般管理費	743,778	822,686	1,595,440
給与手当	190,603	197,081	445,702
販売手数料	64,116	94,957	134,236
広告宣伝費	141,554	154,246	314,927
完成工事補償引当金繰入額	39,800	33,900	62,449
その他	307,704	342,500	638,124
営業利益	219,821	305,607	1,142,161
営業外収益	10,287	9,782	18,859
受取利息	8	52	16
受取配当金	428	847	453
受取手数料	5,706	983	11,064
その他の営業外収益	4,143	7,898	7,324
営業外費用	113,073	101,902	221,204
支払利息	106,505	99,134	203,838
その他の営業外費用	6,568	2,767	17,366
経常利益	117,035	213,487	939,817
特別損失	4,118	39	47,210
固定資産除却損	4,118	39	47,210
税金等調整前中間(当期)純利益	112,916	213,448	892,606
法人税、住民税及び事業税	61,779	40,818	446,871
法人税等調整額	15,888	635	△ 35,197
少数株主損失	923	495	1,878
中間(当期)純利益	36,172	172,488	482,810

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自平成17年6月1日 至平成17年11月30日)
	金額
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	269,495
資本剰余金中間期末(期末)残高	269,495
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	1,346,281
中間純利益	36,172
利益剰余金減少高	77,100
配当金	66,600
役員賞与	10,500
利益剰余金中間期末(期末)残高	1,305,354

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自平成17年6月1日 至平成17年11月30日)	当中間連結会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	前連結会計年度 (自平成17年6月1日 至平成18年5月31日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 224,488	△ 1,986,854	1,220,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	603,910	△ 689,037	896,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 229,228	2,183,002	△ 1,502,563
現金及び現金同等物の増減額	150,193	△ 492,889	613,949
現金及び現金同等物の期首残高	846,247	1,460,196	846,247
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	996,440	967,307	1,460,196

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自平成18年6月1日 至平成18年11月30日) (単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	1,751,992	2,300,612
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800
中間純利益	-	-	172,488	172,488
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	83,688	83,688
平成18年11月30日残高	279,125	269,495	1,835,681	2,384,301

(単位：千円)

	評価・換算差額等		少数株主持分
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年5月31日残高	73,584	73,584	495
中間連結会計期間中の変動額			
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	502	502	△ 495
中間連結会計期間中の中間変動額合計	502	502	△ 495
平成18年11月30日残高	74,086	74,086	-

決算の概要

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前中間会計期間末 (平成17年11月30日現在)	当中間会計期間末 (平成18年11月30日現在)	前事業年度 要約貸借対照表 (平成18年5月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	983,877	933,130	1,433,243
完成工事未収入金	15,247	6,781	8,542
売掛金	5,996	742	10,429
たな卸資産	9,252,239	10,620,336	9,069,558
その他	339,101	247,776	219,775
流動資産合計	10,596,463	11,808,768	10,741,550
固定資産			
有形固定資産合計	1,668,046	1,269,608	954,462
無形固定資産合計	9,833	41,443	44,798
投資その他の資産合計	423,492	854,747	798,006
固定資産合計	2,101,372	2,165,799	1,797,267
資産合計	12,697,835	13,974,568	12,538,818
負債の部			
流動負債			
工事未払金	755,903	970,396	896,929
買掛金	25,719	17,031	8,113
1年内償還予定社債	220,000	220,000	220,000
短期借入金	5,720,450	6,341,750	6,068,200
1年内返済予定長期借入金	130,200	582,606	231,200
未払法人税等	63,508	32,020	372,424
未成工事受入金	146,031	356,177	153,005
完成工事補償引当金	82,620	77,658	79,100
その他	165,670	165,728	405,859
流動負債合計	7,310,104	8,763,367	8,434,830
固定負債			
社債	230,000	10,000	220,000
長期借入金	2,751,700	2,403,594	1,078,600
その他	318,721	384,187	348,494
固定負債合計	3,300,421	2,797,781	1,647,094
負債合計	10,610,525	11,561,149	10,081,925
資本の部			
資本金	279,125	-	-
資本剰余金	269,495	-	-
利益剰余金			
利益準備金	69,781	-	-
任意積立金	1,170,000	-	-
中間(当期)未処分利益	215,814	-	-
利益剰余金合計	1,455,595	-	-
その他有価証券評価差額金	83,095	-	-
資本合計	2,087,310	-	-
負債・資本合計	12,697,835	-	-
純資産の部			
株主資本			
資本金	-	279,125	279,125
資本剰余金	-	269,495	269,495
利益剰余金			
利益準備金	-	69,781	69,781
別途積立金	-	1,170,000	1,170,000
繰越利益剰余金	-	550,930	594,907
株主資本合計	-	2,339,331	2,383,309
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	-	74,086	73,584
純資産合計	-	2,413,418	2,456,893
負債・純資産合計	-	13,974,568	12,538,818

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間会計期間 (自平成17年6月1日 至平成17年11月30日)	当中間会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	前事業年度 要約損益計算書 (自平成17年6月1日 至平成18年5月31日)
	金 額	金 額	金 額
売上高	7,304,364	7,458,516	17,306,229
売上原価	6,360,236	6,412,510	14,696,494
売上総利益	944,128	1,046,005	2,609,735
販売費及び一般管理費	667,545	759,721	1,534,247
給与手当	177,887	147,411	416,576
販売手数料	59,066	168,773	195,055
広告宣伝費	125,497	146,908	295,472
完成工事補償引当金繰入額	39,800	32,900	60,549
その他	265,294	263,727	566,590
営業利益	276,582	286,284	1,075,488
営業外収益	15,411	26,867	30,297
受取利息	5,065	14,740	11,310
受取配当金	428	847	453
受取手数料	6,906	3,663	13,776
その他の営業外収益	3,011	7,616	4,757
営業外費用	108,480	96,390	212,474
支払利息	104,617	94,622	198,490
その他の営業外費用	3,862	1,767	13,983
経常利益	183,514	216,761	893,311
特別利益	-	-	33,000
貸倒引当金戻入	-	-	33,000
特別損失	-	138,039	42,970
貸倒引当金繰入額	-	138,000	-
固定資産除却損	-	39	42,970
税金等調整前中間(当期)純利益	183,514	78,722	883,340
法人税、住民税及び事業税	61,534	29,491	427,527
法人税等調整額	15,888	4,408	△ 29,371
中間(当期)純利益	106,092	44,822	485,185

中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間（自平成18年6月1日 至平成18年11月30日）

（単位：千円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	269,495
中間会計期間中の変動額			
新株の発行	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-
平成18年11月30日残高	279,125	269,495	269,495

（単位：千円）

	株主資本					株主資本合計
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計	
		その他利益剰余金		繰越利益剰余金		
		別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年5月31日残高	69,781	1,170,000	594,907	1,834,689	2,383,309	
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800	△ 88,800	
中間純利益	-	-	44,822	44,822	44,822	
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△ 43,977	△ 43,977	△ 43,977	
平成18年11月30日残高	69,781	1,170,000	550,930	1,790,711	2,339,331	

（単位：千円）

	評価・換算差額等	
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計
平成18年5月31日残高	73,584	73,584
中間会計期間中の変動額		
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	502	502
中間会計期間中の変動額合計	502	502
平成18年11月30日残高	74,086	74,086

配当政策

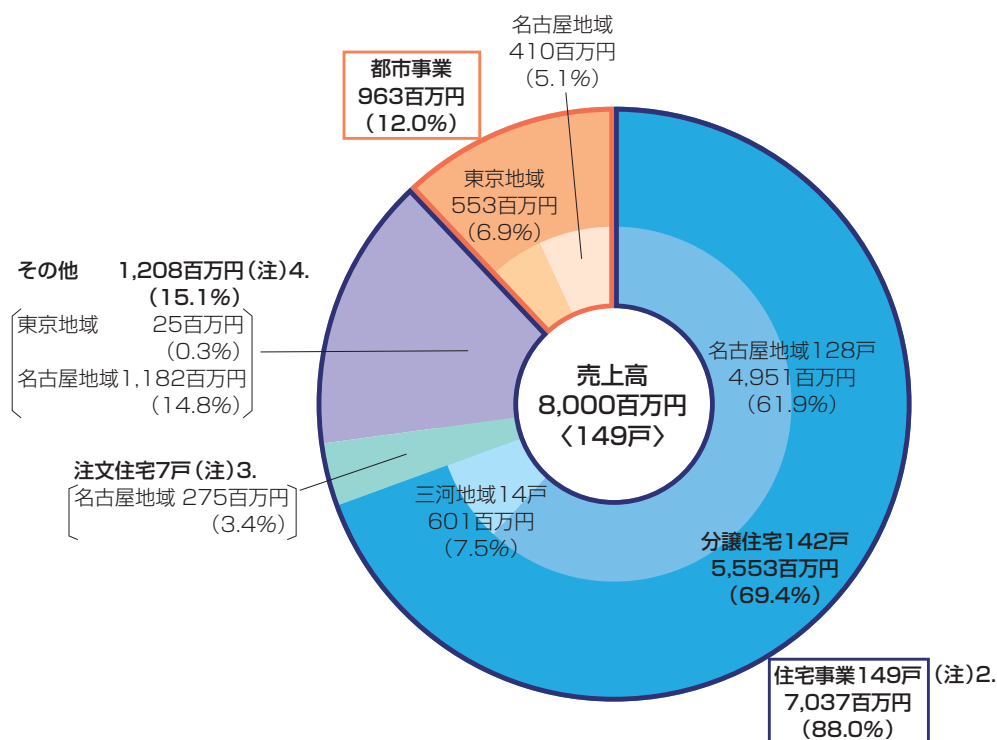
当グループは、株主尊重の意義の重要性を念頭に、株主への利益還元を経営の最重要課題のひとつと捉えております。

業績の動向や経営環境等を総合的に勘案し、将来の事業展開に備えて財務体質の強化のため必要な内部留保と株主の皆様の期待にお応えできるようなバランスの取れた還元や配当性を重視した配当政策を実施していく方針であります。

具体的には、1株につき5,000円の安定配当を基本スタンスとし、業績と将来の資金需要等を総合勘案の上、配当への利益配分額を最終決定していく方針であります。

セグメント別営業の概況

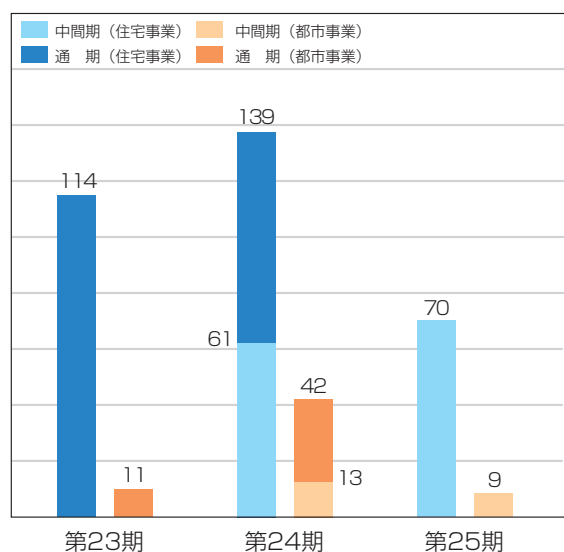
セグメント別売上構成



- (注) 1. 金額は、それぞれ百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 住宅事業 (名古屋地域) の金額には、中古不動産の販売分が含まれておりますが、数量には中古不動産の販売分が含まれておりません。
 (注) 3. 住宅事業-注文住宅の金額には、追加工事分が含まれておりますが、数量には追加工事分が含まれておりません。
 (注) 4. 住宅事業-その他には、インテリアの販売および土地のみの販売等が含まれます。

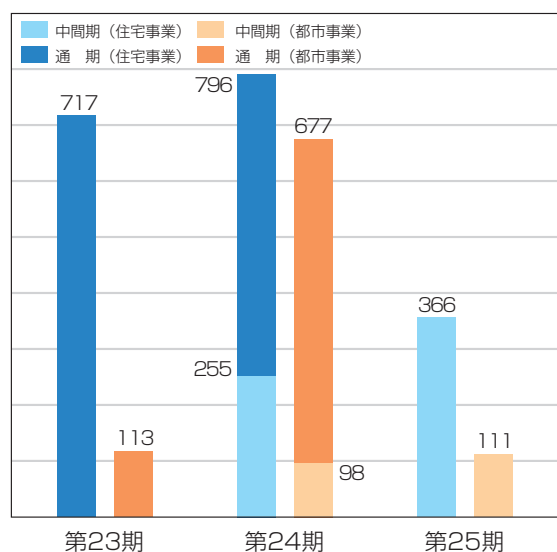
セグメント別売上高推移

(単位: 億円)



セグメント別営業利益推移

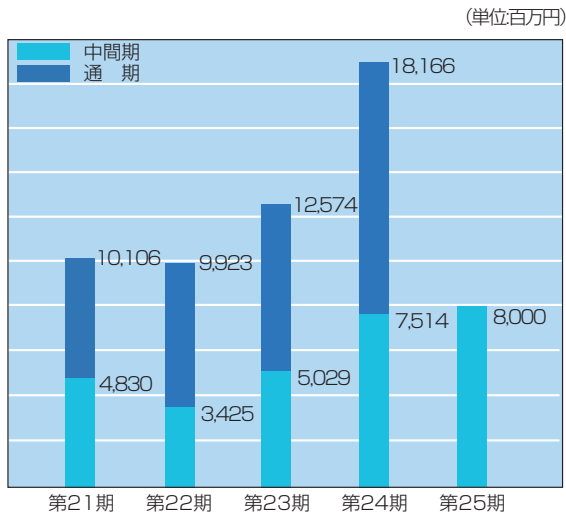
(単位: 百万円)



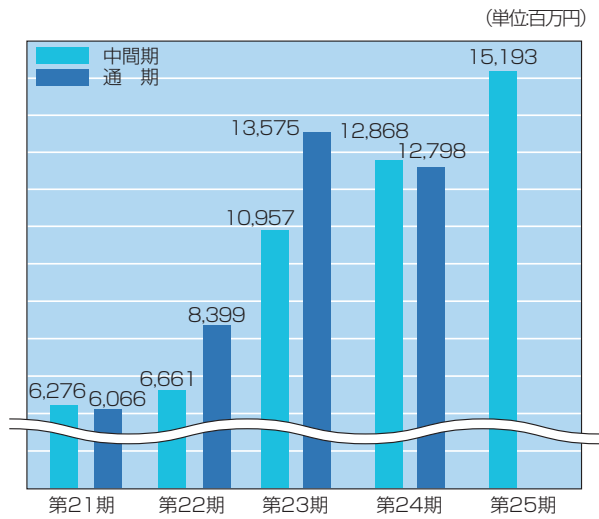
- ※第22期以前は、住宅事業セグメントのみとなります。
 ※第23期中間期は、住宅事業の売上高および営業利益の金額が全セグメントの売上高の合計額および営業利益の金額の合計額に占める割合のいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。
 ※セグメント別売上高およびセグメント別営業利益は、セグメント間の内部取引高の消去前で表示しています。

連結財務ハイライト

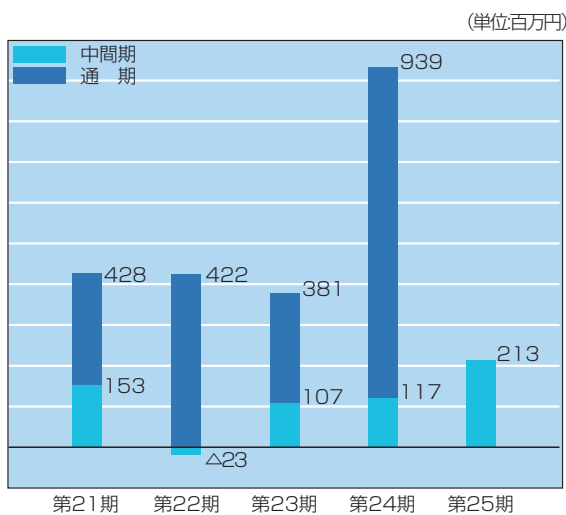
売上高



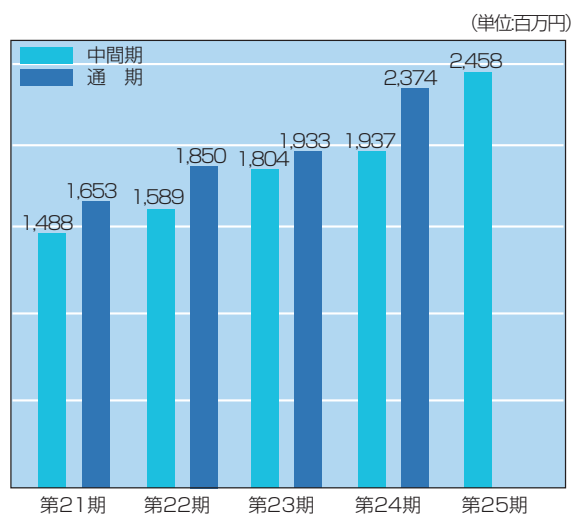
総資産



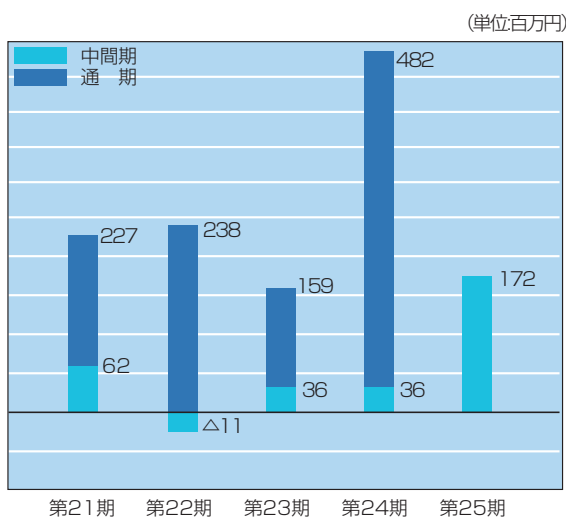
経常利益



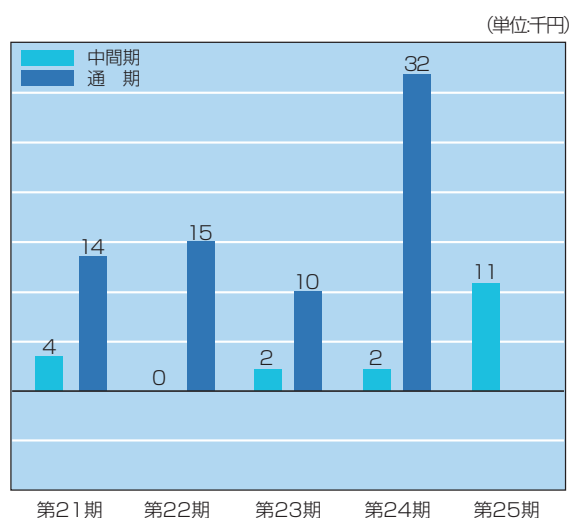
純資産



当期純利益



一株当たり当期純利益



※当社は、平成18年6月1日をもって1対4の株式分割を実施しており、第24期以前の1株当たりの数値は当該期首に分割が行われていたと仮定した金額となっています。

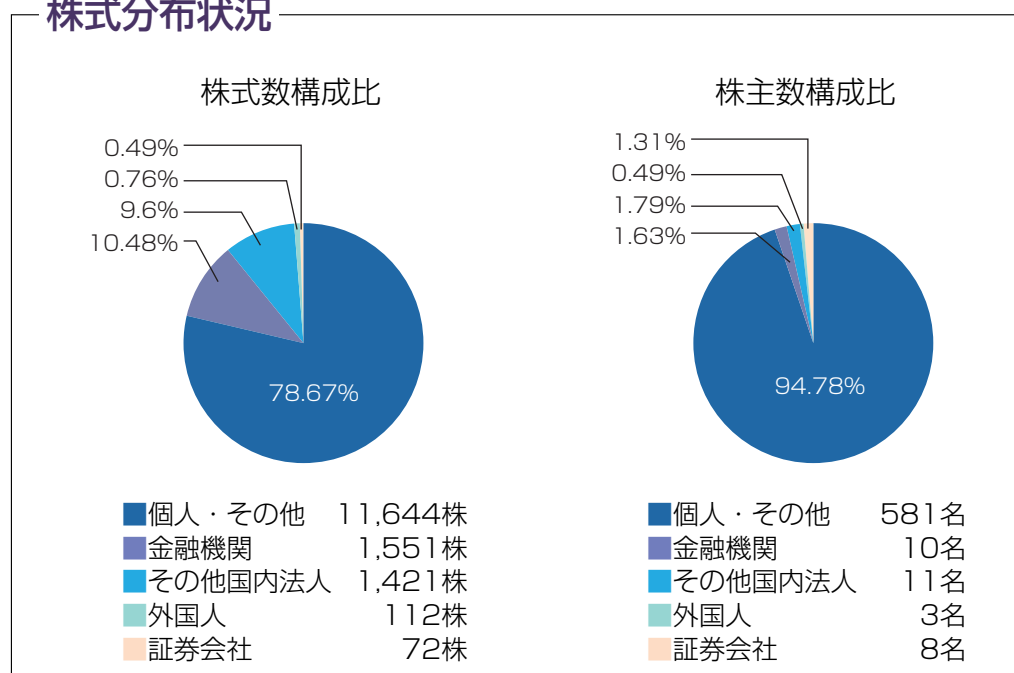
株式の状況

会社が発行する株式の総数48,000株
 発行済株式の総数14,800株
 株主数613名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
前田和彦	5,808	39.24
前田扶美子	1,440	9.72
東邦レオ株式会社	1,200	8.10
松岡明	480	3.24
橘俊夫	452	3.05
柴田芳	400	2.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	2.43
株式会社みずほ銀行	360	2.43
株式会社十六銀行	240	1.62
株式会社りそな銀行	240	1.62
株式会社愛知銀行	160	1.08

株式分布状況



※当社は平成18年6月1日を効力発生日としまして、1:4の株式分割を実施したことにより、発行可能株式総数は48,000株、発行済株式総数は14,800株となっています。

会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ
設立 昭和57年11月26日
資本金 279,125,000円
社員数 69名
本社 〒461-0003
名古屋市東区筒井三丁目27番24号
TEL052-937-0192 (代表)
FAX052-937-0392

主要な事業所 東京オフィス
東京都渋谷区神宮前二丁目6番10号
パークレーン3F
店舗「エフ・プロダクツショップ」
名古屋市東区筒井三丁目27番24号
モデルハウス「クレモーナ」
名古屋市昭和区八事本町16番
(メ〜テレ八事ハウジング内)
モデルハウス「生成りの家」
愛知県大府市吉田町正右工門新田41番49号
(健康木の住まいウッドビレッジ内)

関連会社 株式会社 Design & Construction
株式会社 FOREST NOTE
森林公園ゴルフ場運営株式会社
株式会社リアルウッドマーケティング

役員構成 代表取締役 前田 和彦
兼執行役員 (兼 森林公園ゴルフ場運営株式会社代表取締役)
取締役 笹原 利明
兼執行役員 (兼 株式会社Design&Construction代表取締役)
取締役 佐藤 昭彦
兼執行役員
取締役 松浦 和雄
兼執行役員
執行役員 柴田 労
(兼 株式会社FOREST NOTE代表取締役)
執行役員 大竹 康明
常勤監査役 大木 勝
監査役 松本 哲男

株式会社リアルウッドマーケティング
代表取締役 矢住 太郎



本社 (名古屋市東区)

取引銀行 愛知銀行 いちい信用金庫
大垣共立銀行 関西アーバン銀行
岐阜銀行 静岡銀行 十六銀行
商工組合中央金庫 瀬戸信用金庫
中央三井信託銀行 東濃信用金庫
豊田信用金庫 名古屋銀行
百五銀行 北陸銀行 三重銀行
みずほ銀行 三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
山口銀行 山梨中央銀行
りそな銀行 (アイウエオ順)

事業許可番号 特定建設業
愛知県知事許可(特-13)第40178号
宅地建物取引業
国土交通大臣免許(2)第6013号
一級建築士事務所
愛知県知事登録(い)第5644号

株主メモ

事業年度 6月1日から翌年5月31日まで

期末配当基準日 5月31日

なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、11月30日といたします。

定時株主総会 8月

株主確定基準日 5月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告のホームページアドレス

<http://www.woodfriends.co.jp/ir/index.html>

会計監査人 みすず監査法人

株式名義書換

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
電話(0120)78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

貸借対照表および損益計算書
掲載のホームページアドレス

<http://www.woodfriends.co.jp/ir/kessan.html>

(お知らせ)

住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は下記の株主名簿管理人の中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用下さい。

- フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **ウッドフレンズ**

本 社 名古屋市東区筒井三丁目27番24号
T E L (052) 937-0192 (代表)
U R L <http://www.woodfriends.co.jp>